



**岡田生花店**  
**ベルポート汐入店**  
 営業時間AM10~PM7時  
 水曜定休  
 TEL・FAX 3802-8716

一日一日と少しづつですが日差しが春に近づいてきています。春はお花の種類・色ともに多くなります。香りのいい物が多くあります。是非プレゼントにお花を贈ってみてください。卒業・退職などにもお花を贈ると喜ばれます。今月はお花の贈り方についてのヒントをご紹介します。

まずどんなお花を贈ればいいのか？予算は？まったく決まっていなくてもお花屋さんに行きましょう。いつ必要なのか・用途（卒園のお祝いなのか・誕生日なのか・退職なのか）は何かを伝えてください。そして、それは大人にあげるのか子供にあげるのかなど分かる範囲でいいので出来る限りの情報をお花屋さん伝えてください。お花屋さんはその情報から平均的な金額とお花の種類や色などをアドバイスしてくれるはずですよ。

例えば中学生ならば2千円から3千円でブーケタイプの花束はどうですか？色は女性ならば赤・ピンク系が多いです。このように具体的にお花の種類なども含めて説明してもらえます。その時に使って欲しいお花があれば、その時に依頼すれば大丈夫です。大切なのは日にちは余裕をもって注文をお願いします。お花の市場は毎日ある訳ではありません。また、硬いつぼみでもお花は綺麗ではありません。なるべく余裕をもってお花屋さんにご相談してください。そして、3月は退職の多い時期でもあります。

たいがい年度末に退職されるのでその日もとも込み合います。特に配達を頼む場合も時間に幅を持たせたほうがいいと思います。

店頭での引取りでも前日までは時間と予算を伝えて予約することをお勧めします。送別会などの時間に間に合わないなんてことになったら大変です。是非予約をしてください。

4月にかけては会社の設立や昇進・開店が多くなります。この場合も早めにお花屋さんにご相談ください。特に4月1日は入社式などもあり配達などが立て込むことが多い日です。前日の配達などがお勧めです。

お店の開店・設立などは観葉植物や大き目のアレンジメントがお勧めです。会社であれば観葉植物が喜ばれます。飲食店などは外に置くタイプのスタンド花が目立つのでお勧めです。昇進などの場合は胡蝶蘭がお勧めです。豪華で長持ちします。

最近多いのですが、胡蝶蘭やスタンド花を宅配で送られているのを見かけます。

胡蝶蘭などは寒さに弱いのでダンボールの箱に入れてだけでは胡蝶蘭には寒くお届け先で箱を開けたら花が落ちていたという話を聞きます。スタンド花も花が終わった後の容器を引取りに来てもらえなくて困ったという話もよく聞きます。宅配便の箱を片付けるのも大変ですし、お花が悪くなっていたり、スタンド花の設置もお届け先の方にしてもらわなければいけないなど一概に宅配便でお花を送るのは良くないとは言いませんが、先方に迷惑がかかることだけは避けたいものです。

なにはともあれ早めにお花屋さんにご相談に行ってみることが一番大切です。

3月の定休日は6・27日です。  
 13日20日は営業いたします。

**南千住警察署よりお知らせ**

最近、都内で新聞販売店従業員をかたる新聞集金詐欺被害が発生しました。

**詐欺に注意!!**

◆新聞購読料を前払いすれば安くなる  
 ◆2ヶ月分先に払えば安くなる



すでに、都内では130件以上、総額百数十万円以上の被害が発生しています。



【注意点】  
 ◎領収書や契約書の販売店名、住所を必ず確認してください。

◎「前金」を要求されたら、その場で販売店に電話で確認してください

・東京新聞南千住専売所

TEL (3803) 1781

・東京新聞南千住東口専売所

TEL (5850) 3699

南千住警察署

TEL (3805) 0110

**荒川消防署からのお知らせ**

◇東日本大震災からまもなく2年、東京消防庁では、過去の震災の教訓を踏まえ、地震時にとるべき行動を「地震 そのとき10のポイント」としてまとめております。「地震 そのときの10ポイント」は、時間経過により「地震時の行動」「地震直後の行動」「地震後の行動」の3つに分けられます。

◎地震時の行動「地震だ！まず身の安全」  
 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せることとしています。これは、近年の大きな地震において、揺れの最中に火を消すなどの行動をとると、転倒したり、割れたガラスや鍋のお湯でケガをする例が多かったことによりです。

◎地震直後の行動「落ちついて 火の元確認 初期消火」  
 火を使っていた時に地震が起きた場合は、揺れがおさまった際に火の始末をしましょう。また出口を確保するための窓や戸を開けるのも揺れがおさまった時にしましょう。

◎地震後の行動「避難の前に安全確認 電気・ガス」  
 地震時に停電していた電気が復旧した際に、地震により断線した電気コードや、転倒した家具などにより安全装置が働かなくなった電気ストープから火災が発生することがあります。避難が必要な時には、電気ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。

【春の火災予防運動】  
 (3月1日(金)~7日(木))

☆3月3日(日) 11時30分から、ジョイフル三ノ輪商店街にて、鞆絵太鼓会等の協力を得て防火パレードを実施いたします。

問合せ先 荒川消防署  
 TEL (3806) 0119

